

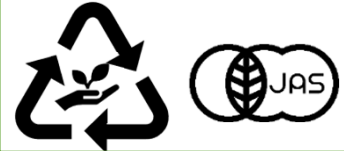
04 小田急電鉄 株式会社

座間市で地域循環モデルを目指す！

都市農業地域共生推進等支援事業

モデル支援型

有機農業等の普及



神奈川県 座間市



フードサイクルプロジェクトのスキーム



LFCコンポストバッグ



参加者の中間交流会の様子



各世帯から集めた堆肥の管理の様子



協力農家の圃場にて施肥する様子

事業の背景

座間市は神奈川県のほぼ中央に位置し、市域は17.57km²人口約13万人の市である。市街化調整区域のほぼすべてが農業振興地域であり、農地面積は田が88ha、畑が126haの計214 haである。

<現状>

小田急電鉄と座間市では、令和元年から「ごみ収集運搬の最適化システム「WOOMS」の実証実験を開始。収集運搬の効率化によって生まれた余力により剪定枝のリサイクルに取り組み、年間約1,400トン（2021年度）の廃棄物の削減に繋がった。<課題>

ゴミの削減・資源循環に対する住民理解の増進と有機農業の推進

取組概要

◆取組内容・効果

- ・座間市内の600世帯へ生ごみを手軽に堆肥化する「LFCコンポスト」を無償貸与し、各家庭から排出される焼却ごみを削減。
- ・各家庭からごみ集積所へ出していただく「出来上がり堆肥」を、座間市の資源回収車で効率的に回収する。
- ・回収した堆肥を、第三者機関で品質調査したうえで、市内の農家で農作物の栽培に利用し、できた農作物を市民に販売する。
- ・焼却ごみの削減と、都市農業の振興による循環モデルを形成する。
- ・2024年3月末までに計600世帯から出る約20トンの生ごみを削減し、約2トンのコンポストとして再生する計画。

05 株式会社 エマリコくにたち

有機農業の担い手と都市農業を支える都市住民の育成を目指す！



みどり戦略TOKYO農業サロンの様子



イートローカル探検隊の様子



食育BOX「農くる！」(野菜の解説・野菜の生産者・レシピ)



マルシェの様子

都市農業地域共生推進等支援事業

モデル支援型

農村ファンの拡大



東京都 多摩エリア



事業の背景

<現状>

- ・多摩地域では、生産緑地をはじめとした都市農地が比較的残されている。
- ・行政や農業者は、都市農地維持に対する危機感が強い。
- ・また、多摩地域は地産地消が盛んで、地域住民の都市農業の認知度が高いため、高齢者を中心とした援農ボランティアも多い。

<課題>

- ・みどりの食料システム戦略で有機農業の拡大がうたわれているが、農業者は日々の農業経営に追われ、持続可能な農業や有機農業について、学習する時間がない。
- ・農業者は「東京都GAP」などの認証を取得しているが、農産物の販売価格に転嫁できていない。

取組概要

◆実施体制

多摩地域の農産物の流通・販売を行う「(株)エマリコくにたち」と青壮年農業者、農業体験活動を行うNPO等が連携して事業を実施。

◆取組内容・効果

①みどり戦略TOKYO農業サロン

循環型農業、有機農業等に関心のある農業者が先輩農業者の圃場で実習しながら、技術を学ぶ。

②イートローカル探検隊・マルシェの開催

座学講習や名人農家での援農を通じて、食に関心のある都市住民を都市農家の「中間支援層」として育成し、マルシェのボランティアにも参加。

③子ども向け食育BOXの販売・送付

食育宅配BOX「農くる！」は、親子で楽しみながら地元の農業や野菜について学ぶことを目的に開発し、小さな子どもがいる家庭に宅配便にて送付。

06 農と親しみ江東区の共生社会を考える協議会



豊洲エリアで子どもたちが農に触れあう空間を創設！



農園設置場所となる東京ガス「がすてなーに」の様子

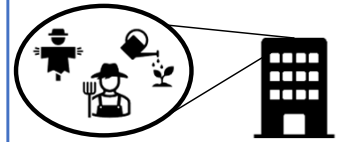


廃材を活用したレイズドベッド10台を設置

都市農業地域共生推進等支援事業

都市農地創設支援型

農的空間の創出



「ハコ畑」のロゴ

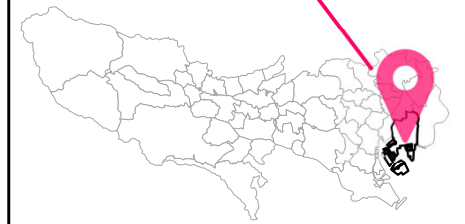


コミュニティによる種植え・苗植えの様子



イベントでのワークショップの様子

東京都 江東区



事業の背景

<現状>

近年、豊洲地区を中心に開発がすすみ、高層マンションが林立する都市景観となる一方で、江東区では「みどりの中の都市」をイメージした「CITY IN THE GREEN (CIG)」によるみどりのまちづくりをすすめている。

<課題>

- ・ 区民農園が不足しており、サポート付きの民間運営農園は高額である。
- ・ 区内には身近な農地がなく、農に触れる機会が限定的である。
- ・ 農への関心づくりや組織体制が十分でない。

取組概要

◆実施体制

江東区民による地域協議会が主体となり、すでに都市空間における農地創出等の先例事例を持つ専門家や団体に加え、地域のコミュニティを持つ団体や、農業従事者等と協力する。

◆取組内容・効果

- ・ 農的空間の創出に関する勉強会や関係者との合意形成を目的とする話し合いの場等を設置する。
- ・ マルシェやイベント出店を通して都市住民の農業への関心やニーズを把握するための調査を行う。
- ・ 子育て世代を中心に取組の核となる区民サポーターを募集し、コミュニティの体制強化を図る。
- ・ 都市住民や子どもが農に触れる農園「ハコ畑」を設置し、農園の形態や管理の仕組み等について実証を行う。



～ 都市農業の持続的な振興に向けて ～

本交付金は、応募者から所定の実施提案書を提出いただき、有識者等による審査を経て補助金等交付候補者を選定する公募事業です。

応募にあたっては、このパンフレットのほか、公募要領、農山漁村振興交付金交付等要綱、農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)実施要領を十分にご確認いただき、公募実施期間中に実施提案書を提出してください。

公募実施期間は農林水産省ホームページをご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html#no>

問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 都市農業室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL : 03-3502-5948 (内線5445)